



にほんこく なまえ つか 日本国の名前は、むかしはあまり使われなかったの

がいこく こうりゅう つか 外国との交流でしか使われない

にほん こくめい にほん さだ ねん まえ たいほうりつりょう
日本の国名が「日本」と定められたのは、1300年ほど前にできた、「大宝律令」と
いう法律によってです。しかし、そのころは日本という名前より、「やまと」とか「日
もと」とよばれることのほうが多かったです。

ならじだい へいあんじだい はつおん むらまちじだい
奈良時代や平安時代になって「にほむ」と発音し、室町時代にやっと「にっぽん」とよ
ばれるようになりました。それも、がいこく こうりゅう ばあい
外国との交流の場合だけです。しかし、がいこく
かんけい ひとびと にほん よう つか
の関係もなかった人々は、日本ということばに用はなく、使いませんでした。

にほん てんか 日本のかわりに天下が使われる

そのかわりに使われたことばは、「天下」ということばです。にほんいち てんかいち
日本一は天下一であり、
にほん めいじん てんか めいじん い かた にほん つか
日本の名人は天下の名人という言い方をしたのです。日本ということばは使いません
えどじだい てんかいち おお ばくふ てんかいち な きん
た。江戸時代には、あまりにも天下一が多すぎたので、幕府が天下一と名のることを、禁
止したという話もあります。

めいじじだい めいじけんぽう だいにっぽんていこく いま けんぽう にほんこく
明治時代に明治憲法で「大日本帝国」となり、今の憲法で「日本国」というようになり
ました。（監修・保岡 孝之）

